

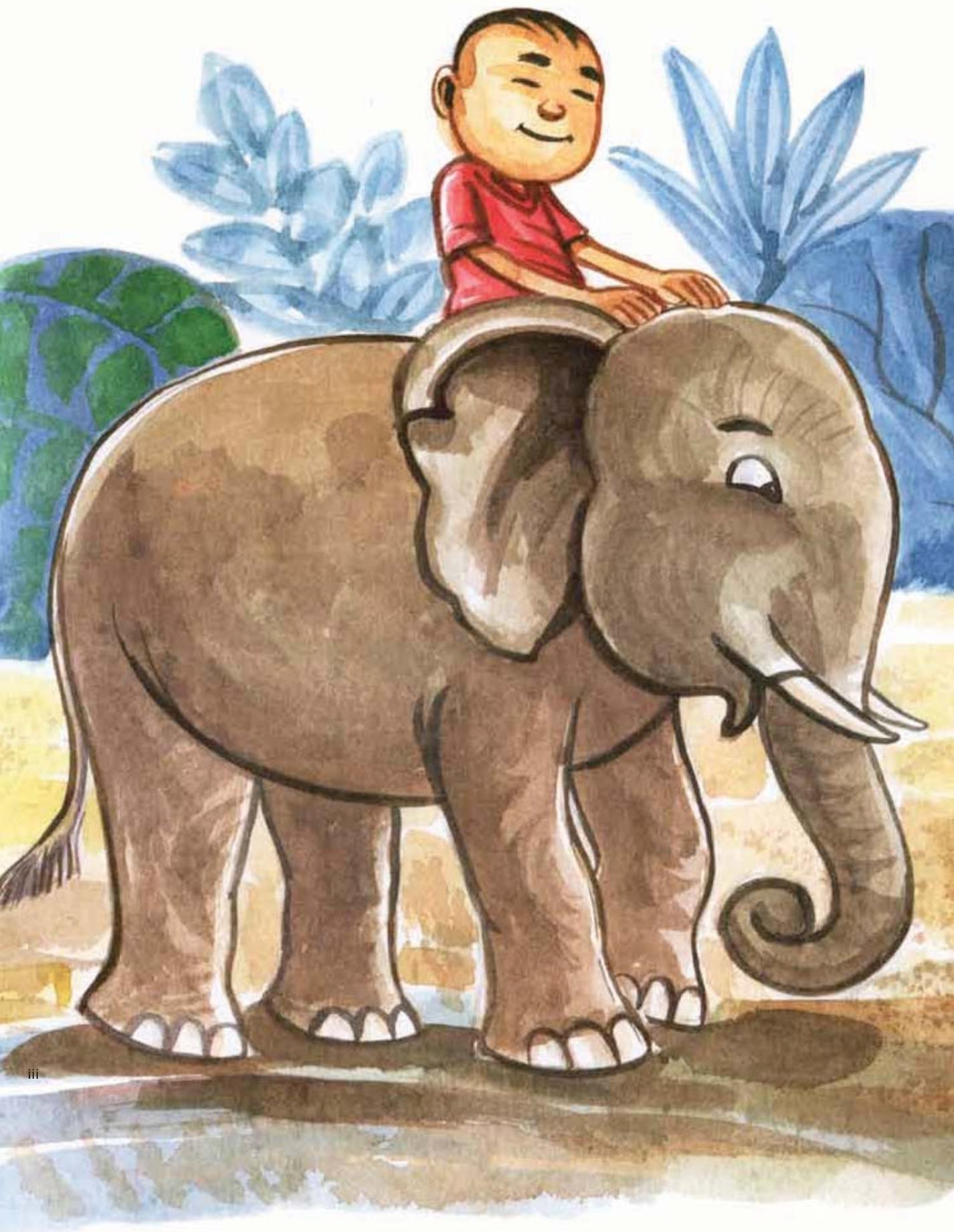
ROOM TO READ



ルーム・トゥ・リード
2011年度 アニュアル・レポート



識字教育の次なる章へ：
次世代の読者に手を差し伸べて





創設者 兼 共同理事長から皆様へ

受けられるようになりました。この数は、今年度末までに1万7千人を超える見通しです。

今日までの成果を誇りに思う一方で、すべきことはまだまだ山積みです。私たちが目標としているのは、揺るぎない確かな変化を世界規模で達成することであり、今はまだ望む成果の氷山の一角をほんの少し崩したに過ぎません。12年前、私たちの使命感に火をつけたのは、ネパールの学校の校長が投げかけた、シンプルでありながら、問題の重みはずっしりと感じられた一言でした — 「ネパールでは、貧しさのために教育を受けることができません。しかし、教育を受けられるまで、私たちはいつまでも貧しいままなのです。」

ルーム・トゥ・リードの共同理事長として、このパラドクス（逆説）を解決しようという私たちの任務遂行に手を差し伸べていただいた皆様に、感謝の気持ちを伝えたいと思います。皆様の惜しみないご支援のおかげで、数百万人ものアジアやアフリカの子どもたちが、人生で成功する上で必要なツールを手にすることができています。これまで私たちの活動は驚くべき規模に発展してまいりましたが、皆様のご支援がなければ、これほどの成果はあげることができませんでした。

ルーム・トゥ・リードの全コミュニティを代表して、皆様のご助力に心からお礼を申し上げます！この世界規模の運動を推進していく上で、今後も皆様と共にさらに大きな成果をあげていけることを楽しみにしております。

創設者 兼 共同理事長
ジョン・ウッド

共同理事長
ティム・クーグル

親愛なる友人の皆様

教育はすべてを変えます。格差をなくす上で強力なツールである教育は、人々がよりよい未来を夢に描き、貧困の悪循環から抜け出し、ずっと先の未来の世代まで、多くの人々の生活を変える原動力となります。私たちの固い信念は、生まれた場所や境遇にかかわらず、すべての子どもには教育を受け、能力を最大限に伸ばす権利があるということです。悲しいことに、初等学校で学ぶ権利を否定されている子どもの数は、現在1億3,900万人以上に上ります。この数は、十代の青少年に到っては数倍に膨れ上がります。この現状を変え、世界中のすべての子どもたちがその人生を変える力を得られるよう、質の高い教育を受けることができる機会を保証することが私たちの使命です。

昨年の秋、私たちはひとつのマイルストーンを達成しました。2011年10月、ルーム・トゥ・リードの図書館に1,000万冊目の本を届けることができたのです。これは、ヤクの背に積んだ本を初めてネパールに届けた時には、想像もしなかったことです。幸運にも、私はベトナムの現地チームと共に、この記念すべき本をメコンデルタにいる熱意あふれる子どもたちに届けることができました（この特別な一冊『Floating Market（水に浮かぶマーケット）』については、4ページで詳細をご覧ください）。記念式典のあと、読書に熱心な何百人もの子どもたちと、才能あふれる地元イラストレーターが進行する識字ゲームやお話の時間、ワークショップに参加しました。生き生きとゲームに参加し、私たちのチームが届けた新しいベトナム語の本をむさぼるように読む子どもたちの姿から、その喜び

が手に取るように伝わってきました。今回の達成を祝うのに、これ以上素晴らしい方法は他になかったでしょう。そして私たちはすでに、一億冊目の本を届ける日を心待ちにしているのです！

このような瞬間こそ、読み書き能力の育成と教育における男女の格差是正を広めるという、私たちの意気込みと情熱が掻き立てられる時なのです。世界の子どもたちは私たちの助けを必要としており、私たちはそれに応えるために全精力を傾けて尽力しています。一つの図書館を作り、一冊の本を制作し、一つの教室を設置し、また支援する少女がまた一人中等学校を修了することに、私たちは公正で平等な世界の構築という自分たちのビジョンの実現に、一歩近づくのだと考えています。こういった努力の一つひとつが、また一人の恵まれぬ、しかし可能性に満ちた子どもの人生を変えるのだと思うと、私たちの懸命な努力はすべて報われます。

1,000万冊目の本配布というマイルストーンの達成に加え、もう一つ素晴らしいニュースをお伝えします。私たちは現在、平均して一日に6つの新しい図書館・図書室を開設しているのです。これは言い換えれば、4時間ごとに一つ新設されているということになります！合計すると、私たちがこれまで設置してきた図書館・図書室の数は、9ヶ国合わせて1万3千ヶ所以上にのぼります。これは、図書館の重要性を説いた有名なアメリカ人慈善家、アンドリュー・カーネギーが設立した図書館数の5倍以上に匹敵する数です。また、私たちが提供する物資やライフスキル（自立して生きるための能力）を得るための教育支援により、十代半ばの少女たち1万3千人以上が、毎日、中等教育を



親愛なる友人の皆様

ルーム・トゥー・リードは、読み書き能力の育成と教育における男女の格差是正実現を通じて、多くの人々の人生を変えていくために一心に尽力している団体です。世界中で読み書きができない人々は7億9,300万人にも上り、その3分の2は女性です。これだけの一大プロジェクトを前にしているのですから、私たちに時間を無駄にしている暇はありません。創立当初から、私たちは可能な限り最大限の成果を出すために業務の幅を拡大すると同時に、生徒たちのため、最高品質の教育プログラムを維持することに重点を置いてきました。この1年間も例外ではありませんでした — 私たちは世界規模での「読み書き能力育成プログラム」の本格展開を無事開始し、ルーム・トゥー・リードの活動範囲をタンザニアへも広げ、また既存の識字教育や女子教育支援プログラムのさらなる発展を果たしました。今日に至るまで、アジアとアフリカの子どもたち670万人が私たちのプログラムに参加する機会を得られたことを、とても誇らしく思っています。そして、2015年までにさらに300万人の子どもたちに手を差し伸べるという目標に向かって、私たちは全力で取り組んでまいります。

急速な成長と質の高いサービス内容は、常にルーム・トゥー・リードの特徴であり続けてきましたが、私たちがここまで活動を拡大することができたのは、熱意溢れる皆様や投資家の方々の後押しがあったからこそです。その惜しみないご支援には頭が下がらばかりです。2007年以來のこの5年間で、私たちの活動に寄せられた寄付金は倍に膨らみ、年間の寄付額は2,150万米ドル（約17億2,000万円）から4,830万米ドル（約38億6,400万円）にまで増えました。この投資の増大により、プログラムの対象範囲、質、及びそ

最高経営責任者から皆様へ

の規模の極めて大幅な拡大が可能となりました。また、ルーム・トゥー・リードの活動国に、新たな3カ国を加え、試験的にスタートしていた「読み書き能力育成プログラム」をグローバルプログラムとして本格展開へと踏み出しました。また、識字教育および女子教育支援プログラムを利用できる子どもたちの数は、2倍以上に増えました。この発展・成長の過程は実に目覚ましいものであり、変わらぬご支援を頂きながら、私たちは将来までこの成長を持続していきたいと考えております。

私たちのプログラムは継続して世界規模で進展しており、その成果もまた世界的に認知されるものとなっています。昨年9月、私たちの現地語出版プログラムの取り組みが評価され、国際連合教育科学文化機関（UNESCO/ユネスコ）の2011年孔子識字賞の受賞団体2団体のうちの一つに選ばれるという名誉にあずかりました。UNESCOは毎年、識字分野における優秀団体を世界中から選び、表彰しています。昨年の評価テーマは、特にジェンダー（性別に対する社会の意識）の平等に重きを置いた「識字と平和」でした。私たちにとっては、ルーム・トゥー・リードが特に重点を置く二分野での功績がそのまま認められたことを意味する受賞で、その喜びはひとしおでした。名誉あるこの受賞に加え、私たちはさらに米国評価機関のチャリティ・ナビゲーターから6年連続の4つ星評価を受けるという喜びにも包まれました。この特別な功績を成し遂げているのは、評価対象団体の3パーセントに過ぎません。

これらの数字や賞の授与は心踊るものではありませんが、最も意義ある成功の指標は、良質の教育を受けられるようになったことで人生が変わった子どもたちの話に反映されています。医師になるという夢を持つようになった、カンボジアの片田舎に住む8歳のナリンや、ルーム・トゥー・リードが出版した本を読み、エイズで母親を失った辛さと向き合う力を得たと

いう12歳のアフィウィのような子どもたちの話を聞くことは、私にとって大きな喜びです。こうした子どもたちは、私たちの取り組みが世界各地で影響をもたらしているのだという生きた証拠であり、常に私の情熱に火をつけ、前進する刺激となっているのです。

是非皆様にも、この2011年度のアニュアル・レポートに目を通して頂きたいと思えます。皆様の助力があってこそ可能となったルーム・トゥー・リードの活動が、至るところで変化をもたらしており、その影響力の大きさをお感じ頂けることと思えます。皆様の献身的なご支援は私たちの活動になくてはならないものであり、今日までルーム・トゥー・リードが達成した一つひとつの成果について、皆様が私たちと同様の誇りを感じてくださることを心から願っています。よりよい人生を送る権利がある大勢の子どもたちの生活を改善するため、私たちのパートナーとなることを選んで下さった皆様には感謝してもしきれません。共に力を合わせることで、私たちはこの目で、世界の識字率が大幅に改善されるその日を見ることのできるはずですよ。

心からの敬意を込めて

Erin Ganju

エリン・ガンジュ
最高経営責任者 兼 共同創設者

識字教育の次なる章へ： 新世代の読者に手を差し伸べて

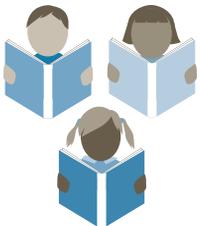
2011年を振り返る

ルーム・トゥ・リードでは、識字能力の育成と男女間で格差のない平等な教育機会の保証にその全精力を注いでいます。私たちは、識字能力が将来の全ての学びの原点であり、そして、女子教育が地域社会に変革を起こし、世代が変わる前に非識字問題に終止符を打つ上で最も強力な効果的な方法であると信じています。

アフリカとアジアの子どもたちの多くは、口頭で伝えられる物語を聞いて育ち、活字を学ぶことは容易ではありません。絵本や、初級レベルの読者を対象とした図書があれば、このギャップを埋めてくれ、子どもたちがよどみなく言葉を扱う力、語彙力、そして理解力を高めながら、想像力を通して学ぶことのできるツールとなります。この認識をもとに、ルーム・トゥ・リードは子どもたちが益々読むことの楽しさを覚え、読み書き能力を伸ばす助けになって欲しいという思いで、独自の児童用図書や識字指導書を作成しています。そうした私たちの努力は認められ、国際識字分野において傑出した貢献をしたとして、名誉あるUNESCOの2011年孔子識字賞を受賞しました。

本アニュアル・レポートでは、私たちが活動を行う10カ国における才能ある地元の作家やイラストレーターたちをご紹介します。ルーム・トゥ・リードは彼らと共に、自分の力で本を読む力を得る過程にある何百万人という少年少女たちのために、学ぶことが楽しくなる、気持ちを奮い立たせてくれるような内容豊かな図書を制作しています。

活動の成果

		2011	総計 (2000-2011)
	図書館・図書室 設立数	1,907	13,152
	学校建設数	114	1,556
	現地語書籍出版 タイトル数	154	707
	児童書の配布数	2,103,300	11,541,981
	女子教育支援プログラムの 参加者数	13,727	15,388
	読み書き能力育成 プログラム参加中の教室数	936	--
	教育機会を得た 子どもたちの数	1,054,150	6,655,480



ベトナム



『Floating Market
(水上マーケット)』

~
Đi Chợ Mùa Nước Nổi

著者：ハイ・キム
絵：ウンゴク・ビク・ニューイエン・ティ

タームは日の出が待ちきれません。彼女は夜明けにはベッドを飛び出しました。

お母さんが、今日はタームを水上マーケットに連れて行ってけると約束したのです。

マーケットに行けば、メコンデルタにある彼女の村で一度に目にしたことのある人の数より、ずっと多くの人たちに出会えるに違いありません。

各国での主な成果

バングラデシュ

政府政策に変化を促す

ルーム・トゥ・リードは、初等教育カリキュラム、教科書や教師用の指導書の見直しを図るバングラデシュ政府との検討会に参加し、次のステップを踏むべく、経験を共有して専門家を動員し、改善への取り組みを開始しました。2011年、私たちは著名な教育者、行政官、またその他の政府要員で構成されたフォーカスグループの指揮を執り、読み書き能力の向上に最適な方法を討議、検討しました。私たちの推奨内容はバングラデシュ政府のカリキュラムおよび教科書委員会に提出され、また新聞記事、ブログ、正式レポートを通じた調査結果報告でも公表されました。

ページからステージへ

バングラデシュでは、ルーム・トゥ・リードの女子教育支援プログラムに参加している28人の少女たちの協力を得て、2011年に発行した初級レベルの図書10タイトルに命を吹き込みました。電気や基本的設備のないバングラデシュの川に浮かぶ島々に住む少女たちが、影響力を持つ観客を前に、本をもとにした物語を演じたのです。彼女たちは、プログラムの一部として行われているライフスキル（自立して生きるための

能力）ワークショップを通して得た自信と、人前で話すスキルを披露しました。ベンガル語書籍10タイトルの出版を祝ったこのダッカでの公演には、バングラデシュの代表的な作家の一人も参加し、1971年の国の独立以来、前例のない形式で行われた出版発表であり、非常に感動的なイベントだと称えました。

‘視野’を持った少女たちの健康を

予防や治療が可能はずの病気や疾患は、多くの少女たちが学校へ行けない代表的な原因となっています。眼科系の疾患による学校出席率の低下や、プログラムに参加する少女たちが一人も眼科検査を受けたことがないという事実は、女子教育支援プログラムチームの大きな懸念の一つでした。オービス・インターナショナルとの戦略的パートナーシップを通して、ルーム・トゥ・リードと地元のモイモンシンガウ眼科病院は、女子教育支援プログラムの過去あるいは現在の参加者全員を対象に、視力検査、投薬、および治療の無料提供を行いました。このパートナーシップは今後も継続されていくことが期待されています。

カンボジア

書籍の国際的な認知

2011年、ルーム・トゥ・リード・カンボジアから出版された書籍2タイトルが、国際児童図書評議会（IBBY）に表彰され、国際出張図書展でも展示される予定です。『Help Me Find the Sun（太陽を見つけるの手伝って）』と『The Snake Who Wants to Buy a Shoe（靴を買いたいへビ）』の2タイトルが、その独創的なイラスト、内容、及び文化的な適切性から選ばれました。

図書館の改善に影響力あるリーダーシップを

現地で活動している2団体と協力し、ルーム・トゥ・リードは、カンボジア全国の公立・初等学校に設置されている図書館・図書室に対して統一された基準を導入するよう、教育青年スポーツ省に請願を提出しました。これらの基準は、図書館・図書室の運用に必要な人的資材、施設内に用意すべき資材や、モニタリングのためのベストプラクティスに重点が置かれたものです。私たちのこの提案は受け入れられ、全国の初等学校の図書館・図書室に政府推奨の参照マニュアルが配布されるに至りました。

1千万のストーリーの上に浮かんで

2011年、ルーム・トゥ・リードは、またも新たなマイルストーン達成を祝いました。1万3千ヶ所以上の図書館・図書室の私たちのネットワークに、実に1,000万冊目となる書籍が配布されたのです。この記念すべき一冊となったのが、『Floating Market（水に浮かぶマーケット）』です。これはルーム・トゥ・リード・ベトナムから出版された“ビッグサイズ”の本で、教室や図書館・図書室でのグループの読み聞かせにぴったりの一冊です。ベトナムの初等学校で行われた配布式には、ジョン・ウッドに並んで、ニューヨーク・タイムズのピューリッツァ

ー賞受賞コラムニストであるニコラス・クリストフ氏と、2012年10月にアメリカで放映予定のドキュメンタリー、『Half the Sky（ハーフ・ザ・スカイ）』に向け、私たちの活動をよりよく知るためにちょうど現地を訪れていたアメリカ人女優、ガブリエル・ユニオンさんの二人も出席されました。



科学の学び

ルーム・トゥ・リード・カンボジアは、世界屈指の出版業者であるスカラステック社から著作権の許可を受け、初等学校の児童向けに70タイトルの科学書を翻訳、国内で出版することになりました。共同事業の一環として、ルーム・トゥ・リードは、これらの書籍が学年や年齢相応であること、またカンボジアの公立学校の図書館・図書室に適切な選択であることを保証するため、カンボジア政府の初等教育部門およびカリキュラム開発部門の協力を得ました。このパートナーシップを経て、40タイトルの社会学および応用科学の書籍が認可され、クメール語に翻訳されました。2013年には、これらの書籍が56万部出版され、学校の図書館・図書室に配布される予定です。

インド

拡大は続く

2011年、ルーム・トゥ・リード・インドは、9つ目となる州、マハラシュートラへその活動範囲を広げ、ムンバイ市内にある公立学校において、75の図書館・図書室を新設しました。これらの図書館・図書室には、2万5千人の子どもたちに本を届けるという目標のもと、ヒンディー語、ウルドゥー語、マラーティー語、英語など、複数の言語で書かれた計8万冊以上の書籍が配布されました。

互角の‘プレーチャンス’を得た少女たち

ルーム・トゥ・リードと国際クリケット評議会（ICC）の国際的連携を通じて、ルーム・トゥ・リード・インドは、様々なICCクリケット・ワールドカップ活動の恩恵を受けることができました。中でも注目されたのは、ルーム・トゥ・リードの女子教育支援プログラムに参加する一部の少女たちが、BIG FMラジオチャンネルで、インドの人気クリケットスター選手、ヴィラット・コリーと対面、インタビューする場を与えられ、さらに彼女たち自身も逆にインタビューに答えるという、貴重な機会を得られたことでした。

外交官を迎えて

ルーム・トゥ・リード・インドは、アメリカの国際女性問題大使、メラニー・ヴァーヴィア氏をお迎えする栄誉を授けられました。氏のデリの学校訪問は、ルーム・トゥ・リードとアメリカ合衆国務省間のパートナーシップの絆の強さの証と言えます。学校訪問で大使は、ルーム・トゥ・リードの女子教育支援プログラムに参加する少女たちを含む、多くの子どもたちとの読書や討論の場に参加されました。「今のあなたたちが感じる自分自身の中の一番大きな変化は何？」とヴァーヴィア大使が尋ねられました。「ルーム・トゥ・リードの助けを得たことで、夢を大きく持てるようになりました。そして以前よりずっと自分に自信を持っています。」—最近、デリーの工学プログラムに入学が決まったばかりのバラティはそう答えました。

ラオス

卓越性

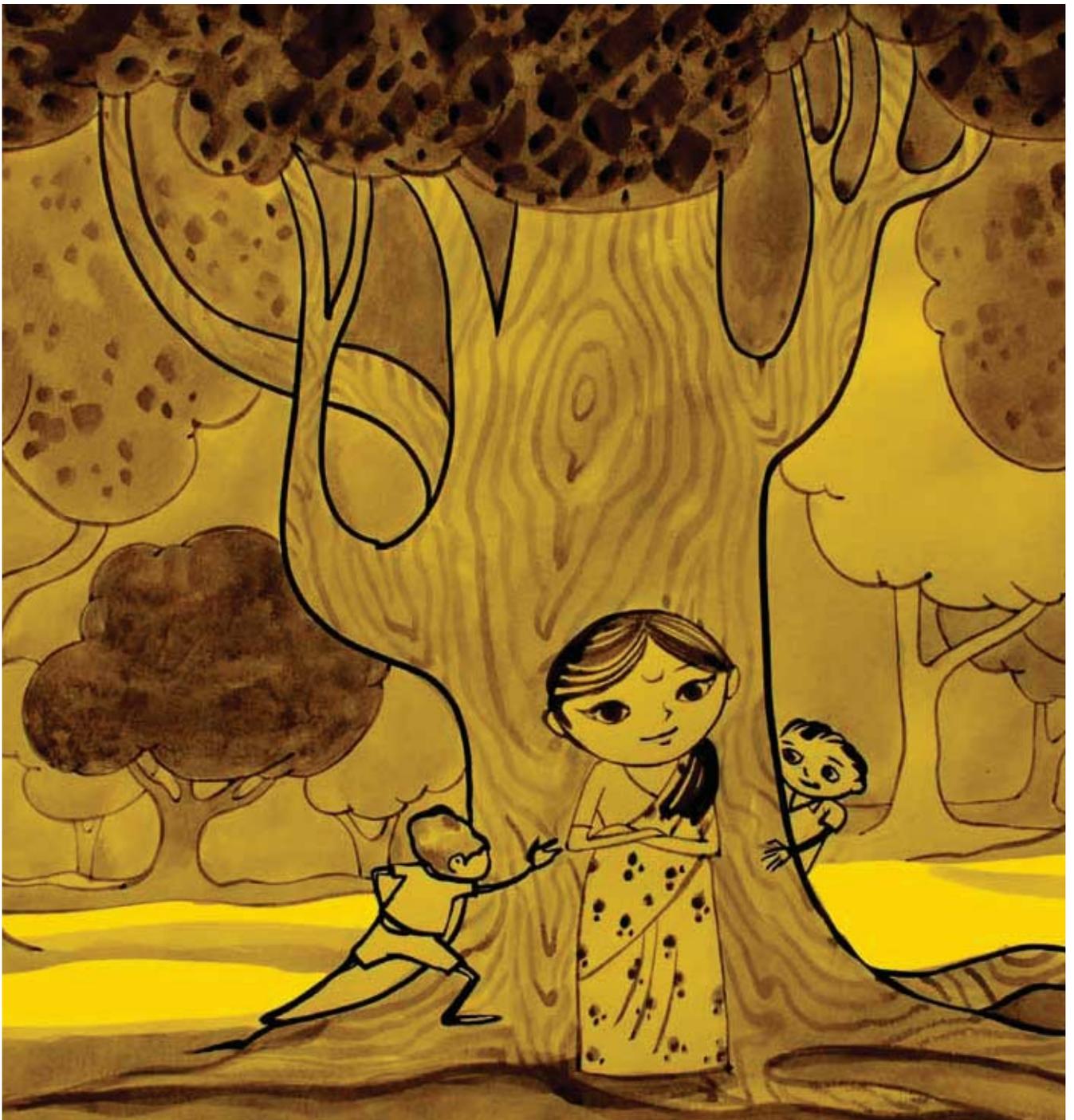
ルーム・トゥ・リードは、ラオスの情報文化観光省から、今回で3年連続となる優秀児童図書賞を授与されました。『The Bee and The Fly（ハチとハエ）』と『Keo Learns to Read（本が読めるようになったケオ）』の2冊が、150タイトルの児童書の中からこの名誉ある受賞作品に選ばれました。この功績を称えて、政府高官やメディア関係者を迎えての特別式典が行われました。ルーム・トゥ・リードの図書出版ワークショップが元となって誕生した『ハチとハエ』は、著者の2作目、イラストレーターにとってはデビュー作の作品でした。

エレファント急行

ルーム・トゥ・リード・ラオスは、北部のサヤプリ州で子どもたちに本を届けるための非常に独創的な方法を考案しました—ゾウです！3団体—エレファントアジア、アクション・ウィズ・ラオ・チルドレン、そしてラオス政府—とのパートナーシップによって実現された図書フェスティバルで、ゾウが本を運ぶ移動図書館がサヤプリの子どもたちの集まる場所を回りました。このゾウの移動図書館は、4ヶ所の初等学校へ600冊以上のラオ語で書かれた書籍を届け、危機に瀕する生物に関する意識向上の推進に貢献しました。このフェスティバルでは、千人以上の子どもたちがとても興奮しながら、両親と共に本読み大会に参加し、読み聞かせやゲーム、歌やクイズなどを楽しみました。

思い描いてみて下さい

もしも一枚の絵が千の単語に相当するとしたら、『Lali's Got a Seed（種を見つけたラリ）』は辞書に匹敵するかもしれません。ルーム・トゥ・リード・インドが出版したこの図書は、最も初級レベルの読者を対象とした文字のない絵本で、そのストーリー展開は読者の想像力に託されています。『種を見つけたラリ』は、ルーム・トゥ・リードの現地語出版プログラムと読み書き能力育成プログラム2チームの協力により生まれました。絵本は、初級レベルの読み書き能力向上に不可欠な口頭言語能力と語彙力を育成する助けとなります。また、文字のない絵本は、子どもたちが本を読む感覚に親しみ、読書を習慣化していく上でも有効なツールとなります。



インド



『Lali's Got a Seed
(種を見つけたラリ)』

~
लाली को एक बीज मिला

著者：スシマ・サーバル
絵：ハーシヴァーダン・カガム

ラリは地面に種が入るだけの小さな穴を掘り、持っていた種を中に入れて、そっと土をかぶせ、芽が出るのを待ちました。ラリの背丈が伸びるのに合わせて、埋めた種から出た芽もぐんぐん大きくなります。一体何になるのでしょうか？それは、大きく立派な木でした。近所の皆が食べられる果物を実らせ、子どもたちの遊び場となり、また、静かに本を読む場所にもなりました。

कुरा सुनेर सिंह धेरै रिसायो ।
एले खरायोलाई अर्को सिंह देखा भन्यो ।



नेपाल



8

『The Lion and the Rabbit
(ライオンとウサギ)』

सिंह र खरायो

改訂：ルーム・トゥ・リード読み書き能力育成プログラム
絵：プロミナ・シュレスタ

ジャングルの王であるライオンは、自分のすみかの近くに住もうという動物がいようものなら、ペロッとエサにして食べてやると大威張り。しかし、賢いウサギがいい考えを思いつきました。仲間たちを説得して協力し合えば、ライオンに食べられずにすむかもしれません。ライオンの恐怖 - 自分のことが怖い - を利用して、ライオンの食欲を抑えることはできるでしょうか？

ネパール

戦略的な図書制作

2011年、ルーム・トゥ・リード・ネパールは児童書制作顧問委員会を設置しました。これは、カリキュラムや教授法の専門家が集まり、子どもを対象とした物語や教材制作に関する知識を共有して、出版する書籍の質を向上しようというものです。委員会は、全原稿の下書きの質と内容を評価し、著者やイラストレーターに編集の指導を行います。

捨てるべきではないもの

2011年にルーム・トゥ・リード・ネパールから出版された『A Story of Garbage (ゴミのおはなし)』は、図書館・図書室プログラムの一環として行われた学生コンテストから生まれました。若き作家・イラストレーターによって書かれたこのストーリーは、カトマンズ盆地にある58の学校の生徒たちから寄せられた100タイトルの中でも、傑出していました。ネパールの現地語出版チームは、ゴミとリサイクルという、ネパール住民の大半に影響を与える、重要な環境問題を提起するこのストーリーを広く伝えるべきだと感じたのです。

政府との連携

ルーム・トゥ・リード・ネパールは、国および地域レベルの両方におい

て、政府要員を対象とした実地訪問の機会を企画しました。10人の政府高官を交えて行われたこのネパールチーム主催のモニタリング訪問は、プログラムの成功を実際に見ることで、ルーム・トゥ・リードの実地業務をもう一度よく知ってもらい、将来的な協業につなげるという目的のもと、成功裡に終えることができました。8ヶ所の学校を訪れ、ルーム・トゥ・リードの図書館・図書室プログラム、学校建設プログラム、読み書き能力育成プログラムを視察しました。地域レベルでは、ルーム・トゥ・リード・ネパールが、政府の関係者を対象に別途訪問の機会を設け、読書専用の時間や活動の組み込みを請願したり、学校品質向上計画の一部として、ルーム・トゥ・リードの図書館・図書室利用を支援してもらえるよう要請したりしました。どちらの訪問も、現地チームがネパール政府との結びつきをさらに強め、今後長い間よりよい協働関係を築いていく上で、有益なステップとなるはずです。

南アフリカ

専門家の集い

南アフリカ政府との共同プロジェクトとして、州教育部門、大学、識字教育の講師や教師組合の代表者を含む識字分野の専門家たちが集まり、2011年にリンポポ州およびムブマランガ州で開始された読み書き能力育成プログラムの改善について話し合いました。この顧問グループは、最

少でも4,500人の子どもたちと80人の教師が対象となる同プログラム実施において、継続的にその方向性を見定め、決定していく予定です。

模範図書室としての認知

南アフリカにあるルーム・トゥ・リードの図書室の一つが、2年連続で年間最優秀学校図書室に選ばれました。今年表彰を受けたムブマランガ州のブッシュバックリッジにあるマルワナ初等学校は、その図書チェックイン率（図書室内で読まれた本の数）と教師陣による図書室のリソース利用度の高さで評価されました。同図書室は、州内の120ヶ所の初等学校図書室の中から選ばれ、特別表彰式で、ムブマランガ州教育部門から賞の授与が行われました。同図書室は現在、州全体の初等学校の模範となっており、子どもたちや教師のやる気向上、及び、南アフリカ全体における識字問題の改善を目的としたリソースの最も有効な利用法において、図書室がどう役に立っているかを学ぼうと、関心を持つ教育者や組織団体の訪問先となっています。

伝統を継承する

地元の作家やイラストレーターによる現地語での図書出版は、ルーム・トゥ・リードが若い年齢層の読者たちにとって文化的に馴染みのある内容の図書を提供するための手段の一つです。地元根付いた制作は、子どもたちに読書の楽しさを教えながら、地域独特の民間伝承や伝統を一つの世代から次の世代へと伝えていく素晴らしい方法でもあります。『The Lion and the Rabbit (ライオンとウサギ)』は、南アジア全域で広く知られる代表的な寓話に基づいたお話です。ルーム・トゥ・リード・ネパールの現地語出版プログラムと読み書き能力育成プログラムの2チームにより、この物語が新しい世代の初級読者たちを対象にした二色刷りのおとぎ話本となって、新たな形で生まれ変わりました。



地域社会の参加を促進

地元の地域社会に私たちのプログラムをより上手く組み込み、参加率を向上させるため、ルーム・トゥ・リード・南アフリカは、標準化されたコミュニティ参加ガイドラインを作成、導入しました。村長やコミュニティの代表者たちとの話し合いの場が持たれ、彼らの影響力ある立場を利用して、学校の図書館・図書室で提供されているリソースを最大限に活用することを、コミュニティの住民たちに奨励してもらえるようにお願いしました。この話し合いが持たれた後、ルーム・トゥ・リードが活動を行う州のうちの4つの州で、地元コミュニティの参加率が伸び、さらに父母の関与率も向上しました。3つの州のみを見ても、現在50校以上の学校で、生徒の親がボランティアとして地域の図書館・図書室を管理しています。

スリランカ

クリケット選手が大使に

国際クリケット評議会との連携により、ルーム・トゥ・リード・スリランカは、識字と読書への意識向上を促す様々なイベントを主催しました。スリランカクリケット界のスター選手、アンジェロ・マッシュースと、オーストラリア選手のシェイン・ワトソンが、ルーム・トゥ・リー

ド大使となり、スリランカ中央地域及び北部中央地域の州で、本の読み聞かせ会やその他の識字教育アクティビティを行って、ルーム・トゥ・リードのプログラムに参加する子どもたちと交流しました。

“光”輝く

ルーム・トゥ・リード・スリランカから出版された『Eliya (光)』が、スリランカの全国識字賞の一つである最優秀児童書表紙デザイン賞を受賞しました。最も認知度が高く権威ある全国作家・イラストレーター協会によって授与されたこの賞は、作家・イラストレーター対象のワークショップを通じた、ルーム・トゥ・リードの書籍制作のための人材育成の成果を反映するものです。この本のイラストレーターであるアルーナ・キルティは、ルーム・トゥ・リードが開催した2010年の図書出版ワークショップに参加してその技能を磨き、児童書にふさわしい挿絵デザインの技術を学びました。

栄えあるパートナーシップ

ルーム・トゥ・リードは非政府組織では初めての、そして唯一の団体として、スリランカにおける識字全国普及の任務を担う名誉ある委員会への参加を依頼され

ました。スリランカ教育省は、国の学校システム全体の成功に関わる重大な責任を負う立場にあります。ルーム・トゥ・リードには、児童を対象とする文学作品や、作家、イラストレーター、出版社、教育者に対する指針の開発への支援協力が求められました。同プロジェクトが完了すれば、これらの新全国ガイドラインに基づき、スリランカで出版される児童書籍において、男女平等、言語、イラスト、文化的関連性のテーマを維持するためのベストプラクティスが標準化されることになります。



タンザニア

存在感の確立

タンザニア政府から正式な登録認可を受けたルーム・トゥ・リードは、運営開始を指揮する地元責任者の採用過程を完了し、本部事務所をダルエスサラームに、支部をモロゴロ市に設置しました。ルーム・トゥ・リードの読み書き能力育成プログラムおよび女子教育支援プログラムの導入地域となる、ムボメロの地方自治体と同意書を交わし、現在、2012年のプログラム施行開始が予定されています。また、2011年には、同地域でルーム・トゥ・リードの存在を知ってもらい、他の地元の関係団体（アメリカ合衆国国際開発庁 [USAID]、チルドレンズ・ブック・プロジェクト、カナダ国際開発庁 [CIDA]、アフリカ女性教育者フォーラム [FAWE] など）との協力関係を築くための事前準備も行いました。

土台づくり

私たちは、AWARIグループとアガ・カーン大学教育発展協会（AKU-IED）と連携して、ムボメロ地域でのルーム・トゥ・リードのプログラム導入に向けた準備を開始しました。本部及び現地職員が、プログラム導入の候補地にある学校を訪問し、学校の運用状況について初期評価を実施しました。こうした訪問中、ルーム・トゥ・リードの職員は、父母、学校の委員会や理事会、校長、教師陣、生徒た

ちとの顔合わせを行い、プログラムの対象となるコミュニティにルーム・トゥ・リードを知ってもらう機会を設けました。その後、学校建設プログラム、図書館・図書室プログラム、及び女子教育支援プログラムの2012年実施スケジュールや運用計画が作成され、また、現地チームの責任者も、現地語出版プログラムの取り組み開始に向け、関連地域の印刷会社や出版会社を訪問しました。

ベトナム

国際的なマイルストーン達成を祝して

ルーム・トゥ・リード・ベトナムは、ティンザン省にあるウングヒップ第2初等学校にて1,000万冊目の本配布記念祝賀イベントを、ルーム・トゥ・リード本部と共に主催しました。この式典にはジョン・ウッドも出席し、同学校の1年生から5年生までの500人の生徒たちに、箱いっぱい新しい本を図書館用資材として贈呈しました。この式典の日に、ルーム・トゥ・リードの出版した現地語図書の挿絵を描いたイラストレーターを迎え、識字ゲーム、お話の時間、美術ワークショップも行われました。

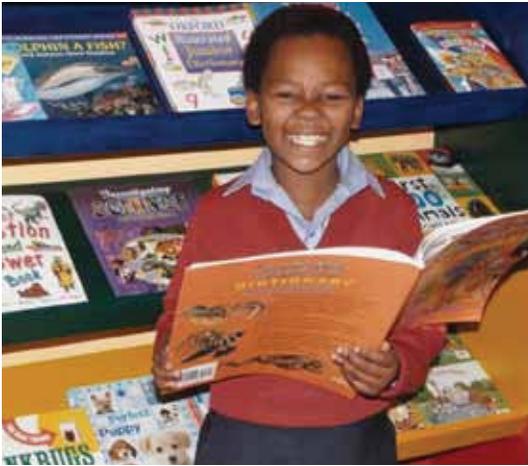
北部に広がる識字教育

ルーム・トゥ・リード・ベトナムは、子どもの学校入学率と識字率が極めて低い北部のトゥエンクアン省とタイングエン省へその活動範囲を拡大しました。プログラム導入は、ルーム・トゥ・リードの

主要プログラムの一つである、学校を対象にした図書館・図書室プログラムから開始されました。同プログラムでは、参加校の成功を見届けるため、4年間継続的なサポートを提供します。北部の地域社会での関心と意欲を高めるため、図書館・図書室プログラムチームは「家族読書ウィーク」と称したイベントを企画しました。20校の初等学校に通う若い読者たちと共に、彼らの両親や祖父母がこのお楽しみ企画に参加しました。

娘たちへの投資

ルーム・トゥ・リード・ベトナムは、今年、女子教育支援プログラムが主催する各種活動における、保護者の参加促進向上に重点を置きました。保護者と子どもを同じアクティビティと一緒に参加させることで、相互的理解につなげ、また、保護者にルーム・トゥ・リードのアプローチ - 例えば、ライフスキルトレーニングを重要視している点など - に対する知識と信頼を深めてもらうことができます。2011年は、3つの省において、関心を持った保護者が1,200人以上集まりました。各セッションでは、娘の教育の重要性が強く指摘され、長期間における利益に加えて、家庭での役割と勉学とのバランスの保ち方に注力したアドバイスが行われました。



ザンビア

少女たちをまた明日も学校に

女子教育支援プログラムチームは、プログラムに参加する少女たちの学校での実績を向上させるため、学校責任者や地域の教育担当役員たちとの密接な協力を得ながら、独自の手段の編み出すことに注力しました。少女たちへのライフスキルトレーニングや、学業面での支援、ならびに基本的な物質面の支援に加え、休暇明けの登校を奨励する「バック・トゥ・スクール」の取り組みを強化し、生徒の自宅を訪問しました。すると、各休暇後に学校へ戻ろうとする少女たちの意欲や姿勢の向上は明らかで、学年末までには中退者率を88%減少することができました。

言葉の発見

ルーム・トゥ・リード・ザンビアは、読み書き能力育成プログラムへのさらなる後押しとアドバイスを得るため、プロの教師陣、カリキュラム作成の専門家、作家、イラストレーター、識字分野の専門家たちの協力を得ました。これは、読み、書き、話し、聞く力を教授する上で助けとなる、訓練ツールの開発に重点を置いたものです。1年生を教える教師陣が、読み書き能力育成プログラムチームと密接に連携し、30の学校で同プログラムを試験的に実施しました。第3学期末までには、子どもたちは母音や子音の字の形と音を関連づけ、文字を識別し、また、授業で教えられた子音と母音の組み合わせを使って簡単な単語を読んだり書いたりできるようになりました。

壁のポスターで読む勉強

ルーム・トゥ・リードが出版するのは本だけではありません。カンボジアでは、教室外での子どもたちの読書習慣をさらに強化するため、現地語出版プログラム、および図書館・図書室プログラムチームが協力して、2種類のポスターを開発、発行しました。これらのポスターは、図書館での本の見つけ方や、なぜ読むことが楽しいかについて、大事な気づきを与えるものです。これら何千枚ものポスターが、ルーム・トゥ・リードによって設置された、カンボジア中の図書館・図書室の壁を飾り、カラフルで楽しい、活字あふれる環境を作りだしています。



カンボジア

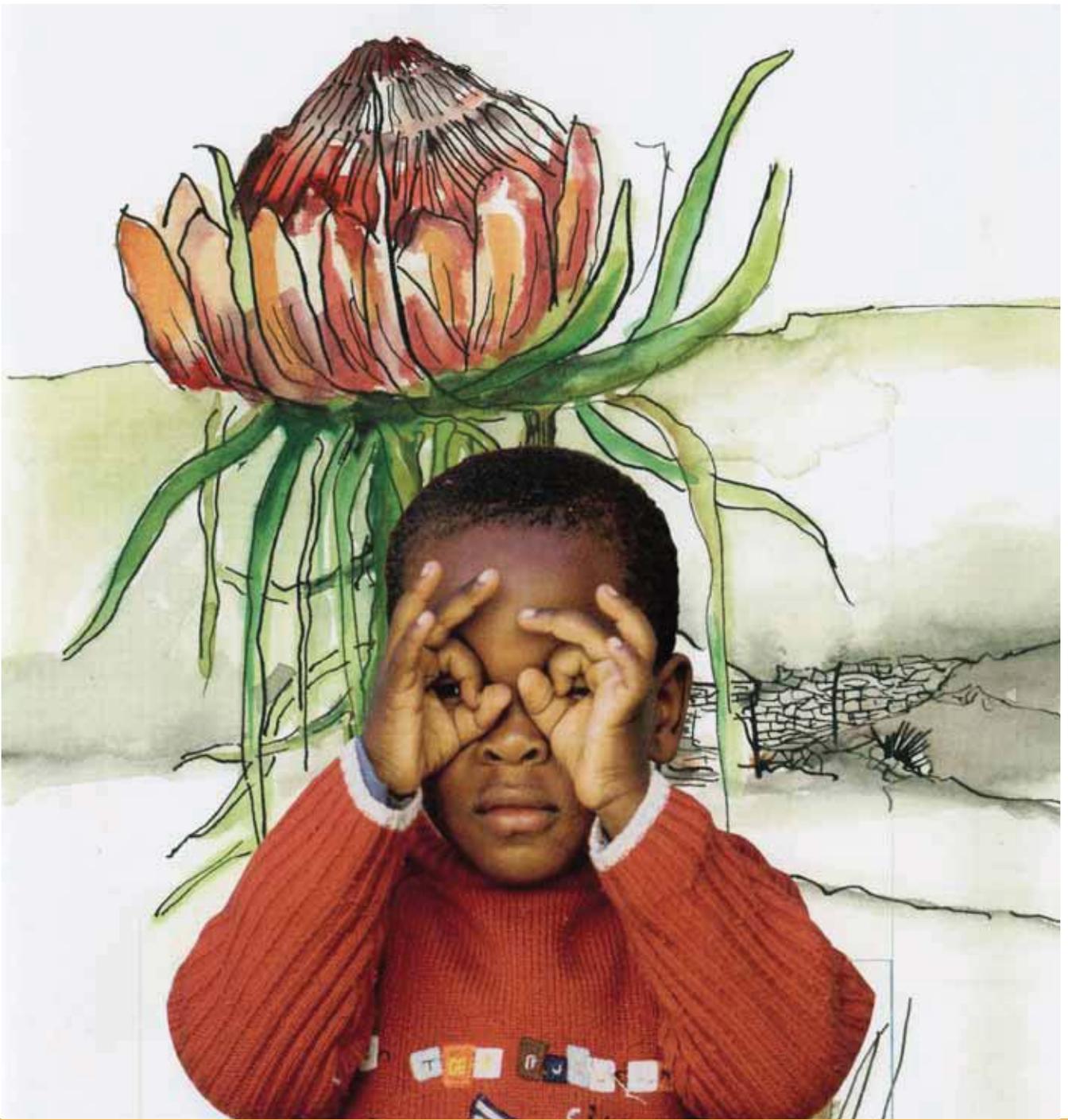


絵：リアクスメイ・アム

図書館から本を借り出す最大の魅力のひとつは、どこでも、好きな場所でそれを読めること！図書館の中に限らず、教室で使うこともできれば、自宅やその他の場所で読むこともできるのです。

『We Can Read Books Everywhere (どこでも本を読もう)』

យើងទេចទេតសៀវភៅ
នៅគ្រប់ទីកន្លែង



南アフリカ



14

『Unjani? (ウンジャニ?)』
～
どんな気分?

作者：ヒラリー・アトキンソン
絵：複数アーティスト

ワクワクしてる？それともドキドキしてる？感じていることを説明するのは、簡単なことではありません。この本に描かれている子どもたちが、それぞれの気持ちを表現している様子は、年少の読者たちが自分の感情を理解する助けとなります。この『ウンジャニ?』を使って勉強すると、新しい語彙を学べるだけでなく、子どもたちが言葉に感情を吹き込めるようになります。

プログラムのハイライト

図書館・図書室プログラム

教育者のためのプロ人材開発戦略

2011年、ルーム・トゥ・リードの図書館・図書室プログラムは、教育者のためのプロ人材開発における国際的ガイドラインの完成と配布に向け、目覚ましい進歩を遂げました。これらのガイドラインは、ルーム・トゥ・リードが図書館・図書室プログラムに関与する教師、司書、校長らをサポートする、3年間のプロ人材開発計画を作成する全体戦略の土台となります。これらのガイドラインは現在、支援国全てにおいて、学校スタッフ向けに訓練するためのワークショップ実施に当たって利用されています。

環境に特化した図書レベル分類システム

2010年、ルーム・トゥ・リードの図書館・図書室プログラムチームは、生徒やその家族、また教育者が、読み物の難易度によって、読書対象として適切な選択であるかを知ることができる分類システムとして、図書レベル分類国際ガイドラインを定めました。2011年、チームはこの取り組みを一步前進させ、文化的・言語学的視点から見た、独自の条件に合わせた国別図書レベル分類ガイド

ラインを設けました。これらのガイドラインは、2011年に設置された全図書館・図書室におけるカタログ作成や書籍配置の基礎となっており、また現在は、教師および司書を対象とした訓練マニュアルにも、図書のレベル分けの要点を組み込むために改訂を行っています。2012年には、生徒の読む能力をより正確に把握し、生徒のレベルに合った図書を選択するための教師陣の能力形成の強化を目指して取り組んでいく予定です。

学校建設プログラム

補修・改装プロジェクトの
パイロット（試験的）実施

2010年、私たちは学校建設プログラムに補修・改装プロジェクトを追加することの利点について検討を開始しました。2011年には、翌年の3ヶ国において少数の学校に限定した試験的な工事施行を見据えて、プロジェクト選択および予算ガイドラインを作成しました。これらの試験的実施が成功すれば、チームの経験値の向上をはかり、補修・改装プロジェクト導入の規模を拡大していく予定です。

学校インフラ調査

インフラ投資を行う対象をより適切に

判断し、根拠に基づいた意思決定を促進するため、学校のインフラ設備状況が生徒の学習効率に与える影響を、現在と過去のデータから評価しました。その結果報告として、2011年に発行された「The Relationship Between School Infrastructure and Educational Outcomes（学校インフラと教育的成果の関係）」は、私たちが学校に対してどのように優先順位をつけて投資をしていくのかを決定していく際に、利用される予定です。同レポートは、ルーム・トゥ・リードのホームページでご覧いただけます。

現地語出版プログラム

初級レベルの読者を考えるフォーラム

現地語出版プログラムチームは、2011年の前半を大掛かりなデータ収集に費やしました。やっと少し本が読めるようになってきたばかりの子どもを対象とした図書の内容に関して、国個別のニーズを定義するためです。この調査は、ルーム・トゥ・リードのアドバイザー・ボードのメンバー、作家、出版社、現地関係者、様々な政府当局の教育部門役員らが集まったフォーラムで、当該テーマの背景を理解する上で役に立ちました。同討議は、初級レベルの読者を対象とした図書に関し、ガイド

これ読めたら笑って

多様性豊かな言語環境にある南アフリカは、他の多くの国よりも、年齢相応で文化的関連性の強い児童書を見つけるのが困難です。6年前の活動開始以来、ルーム・トゥ・リード・南アフリカは、この問題点を改善すべく、11の現地語で23万9,600冊の書籍を発行してきました。この中の1冊、『Unjani? (ウンジャニ?)』（意味：どんな気分？）が、2011年幼児総合開発分野・最優秀出版物（Best Early Childhood Development Publication of 2011）として、国際連合児童基金（UNICEF/ユニセフ）に表彰されました。ごく初級レベルの読者向けに書かれたこの一冊は、南アフリカの子どもたちの多様性を示すカラフルな絵や写真を多用しながら、子どもたちが感情表現を学べるようになっていきます。この本に使われている絵は全て、ルーム・トゥ・リードのイラストレーター対象のワークショップを通して生まれたものです。



スリランカ



『My New Friend
(私の新しいおともだち)』

ඒලාච්චි ජිනේකිති
මගේ හොඳ ම යාළුවා

著者：サジーワ・ミーパゲ
絵：タヌージャ・サンダマリ

少女の親友とは何でしょうか？もちろん、学校の図書室です！
図書室は勉強の手助けをしてくれたり、最高のお話を教えてく
れます。

そのお返しに、彼女は図書室に贈り物をします。お掃除をし
たり、整理整頓をしたり。

この忠実な友達はいつでも彼女のためにそこに居てくれます。
きっと一生の友人になることでしょう！

ライン設定の必要性があるとの合意で
 まとまり、現在、このテーマにおける
 国際的ガイドラインの最終決定に向け
 た取り組みが進められています。

模範となってリードする

カンボジアの現地語出版プログラムチ
 ームは、女子教育支援プログラムと連
 携して、ルーム・トゥ・リードが出版
 する全ての書籍において、前向きで平
 等な男女の役割描写を広めるため、作
 家やイラストレーターのためのパイロ
 ット（試験的）ワークショップを企画
 しました。この取り組みに感化され、
 刺激を受けたカンボジアの教育省が、
 クメール語作家協会と提携して、地元
 の作家やイラストレーターを対象にし
 た3日間のワークショップを後援しま
 した。このワークショップでは、文学
 書やその他の読み物において、ネガテ
 ィブな偏見を助長する言語表現や人物
 描写を避けるなど、男女平等を推進す
 る重要性がテーマに上げられました。
 同課題については、私たちが活動を行
 う国々全域において、作家やイラスト
 レーター対象のワークショップに特別
 セッションを組み込むように現地チ
 ームを奨励しており、すでにザンビアや
 ラオスでも同様のワークショップが実
 施されています

読み書き能力 育成プログラム

4カ国においてプログラム拡大

2008年、私たちはいくつかの国で読
 み書き能力育成プログラムの導入を試
 験的に開始しました。バングラデシュ
 、南アフリカ、ベトナム、ザンビア
 においてこの新たなプログラムを始動し
 た昨年、私たちは継続して目に見える
 成果を出し、また、タンザニアでもプ
 ログラム導入に向けて尾計画を完了し
 ました。

2年生までに問題なく読める力を

ルーム・トゥ・リードの読み書き能力
 育成プログラムにおける、国際的ガイ
 ドライン設定への取り組みの一環とし
 て、私たちは新たに「1・2年生向け
 読み書き能力育成プログラム方針」の
 草案作成を進めています。同方針書は
 、読み書きを教授する上で理論上期待
 される成果や、私たちの任務における
 重要な前提条件を明確に定義するもの
 です。さらにこれは、グローバル、地
 域、国レベルのプロジェクトチームが
 、国に特化した読み書き能力向上活動
 を開発していく上で参照可能な共通の
 設計方針も含んでいます。この改定方
 針に沿って、同プログラムに参加する
 子どもたちが2年生修了までに読む能
 力を習得できるようにすることを目標
 とした、プログラム内容の向上を進め
 る予定です。

女子教育支援プログラム

ライフスキル教育

女子教育支援プログラムに携わる全現
 地チームは、2010年に同意された国
 際的ライフスキル（自立して生きるた
 めの能力）30項目に沿って、境遇や
 状況に特化したライフスキルの継続的
 なカリキュラム開発を進めました。ア
 ジア圏の全7ヶ国の現地チームは、ラ
 イフスキルマニュアルの作成、ならび
 に関連カリキュラムの設計を完了して
 います。各マニュアルは、プログラムの
 質向上と国際的リソースの効率的使
 用を推進するため、全支援国において
 共有されました。

プログラム卒業生の追跡調査

ルーム・トゥ・リードは、カンボジア
 、インド、ネパール、ベトナムにおけ
 る81人のプログラム卒業生の高等教
 育調査を完了し、彼女たちの実績や、
 高等教育への進学過程で直面した問題
 についての記録を文書化しました。そ
 の結果、インタビューを行った3分の
 2の卒業生が無事高等教育への扉をく
 ぐったことが分かり、このことをご報
 告できることをとても喜ばしく思っ
 ております。

本は少女の親友

読書は一生続けていきたい習慣のひとつです。ルーム・トゥ・リードはこれまでに1万3千校の図書館・図書室を設立してきましたが、これらが確実に、効果的な形で利用され、子どもたちが生涯にわたる読み書きの習慣を身につけていく助けとなっていることを見届ける必要があります。これを遂行する手段の一つが、ルーム・トゥ・リードが後押しする『My New Friend（私の新しいおともだち）』のような図書の利用です。ルーム・トゥ・リード・スリランカから出版されたこのノンフィクション作品は、初級レベルの読者を対象に、学校の図書館がどう機能するかを説明し、子どもたちが自立的に図書館を利用できるように手引きします。更なる図書館利用を奨励するため、スリランカの現地チームは国内の日刊新聞、ザ・アイランドと提携し、「壁面図書館」コンテストを企画しました。ルーム・トゥ・リードが設立したスリランカ中の図書館・図書室から寄せられた絵や話の中から、毎週、15の受賞作が新聞上で紹介、発表されます。

共通の実践に基づいたコミュニティ形成
 ルーム・トゥ・リードの各現地チームの代表者が、インドとカンボジアで行われたワークショップに集合し、指導法、ジェンダー（性別に対する社会の意識）の視点から見た責任ある教授法、親や学校の関与、またライフスキル能力の評価ツールに関して学び、プログラム内容のさらなる充実を目指しました。このワークショップは、期待できる実践方法や

、女子教育支援プログラムの各分野の取り組み全般において得られた教訓を参加者間で共有する良い機会となりました。
 将来を見据えた計画作り
 女子教育支援プログラムを導入している全ての国において、各国プログラムの長期的見解、タイムライン、目標、活動成果向上の戦略を定める、運用計画が起草されました。この修正案には、適切な指導法や、ジェ

ンダー（性別に対する社会の意識）の視点から見た責任ある教授法など、新たな内容が加えられています。同計画の策定は、各国に特化した戦略開発に欠かせないステップであり、今後4年間にわたるプログラムの取り組みに向けた指針として活用されていく予定です。

調査・モニタリング・評価

2011年、ルーム・トゥ・リードの調査・モニタリング・評価チームは、2010年に行われた総計1万7千件を超えるユニークなプロジェクト記録の文書化を行いました。この業務を通して、以下のことが明らかになりました：

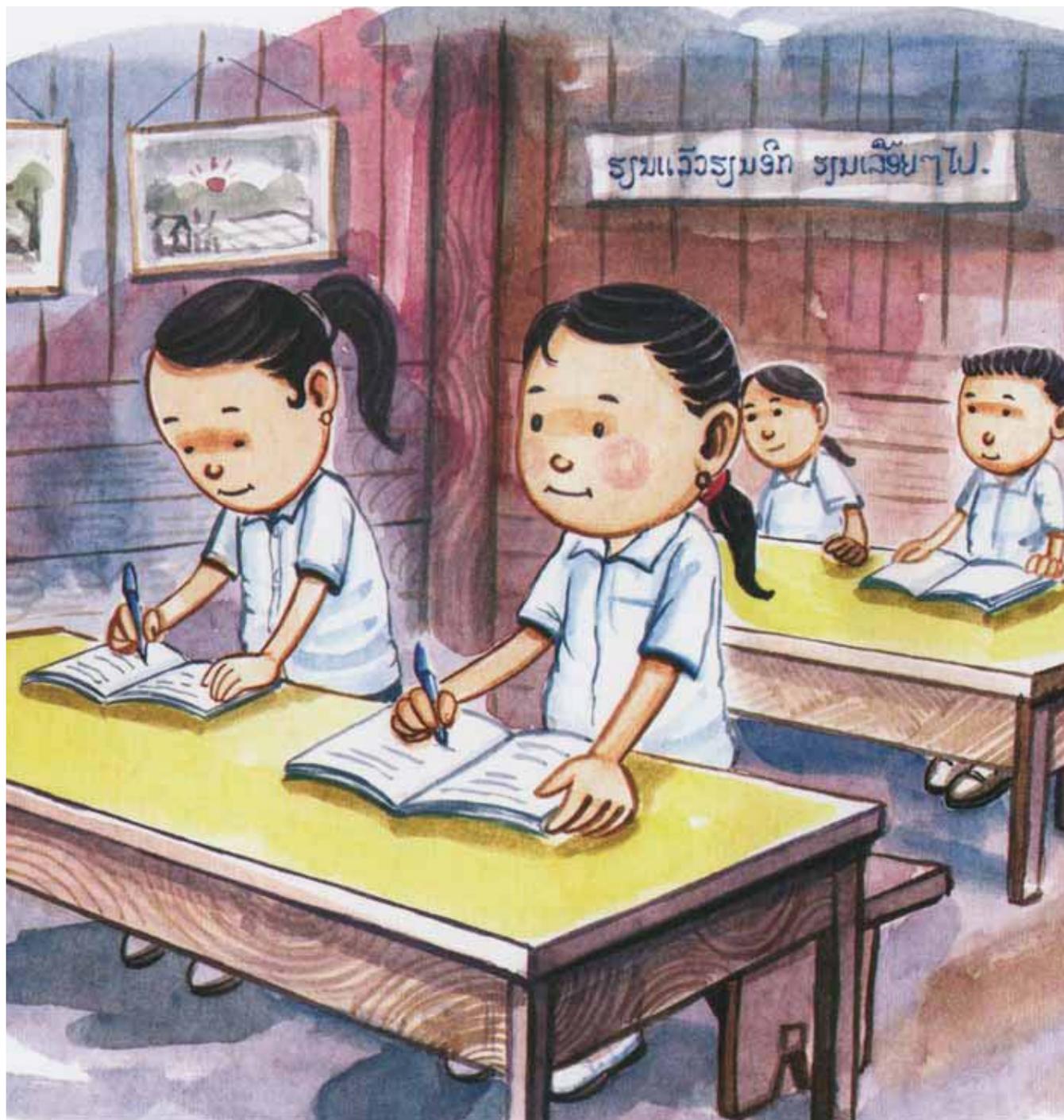
- ・ 2010年に設置された図書館・図書室の96%は、本の貸し出しや分類のためのシステムを有している。
 - ・ ルーム・トゥ・リードのプログラムに関与している98%の司書は、図書館管理訓練を受けている。
 - ・ 2010年に完了した建設工事プロジェクトの100%が、地元コミュニティとの共同出資で実施された。
 - ・ ルーム・トゥ・リードの図書館・図書室ネットワークに新たに加わった書籍数は、13万3千冊であった。
- 私たちはまた、図書館・図書室プログラムの3年にわたる評価を継続し、ザンビア、ネパール、ラオスでデータ収集を行いました。2009年に開始されたこの調査は、私たちが学校に設立する図書館・図書室プログラムが、どのように生徒たちのための識字環境作りにつながっているか、また、図書館・図書室が、生徒たちの読書に対する習慣や姿勢にどのような影響を与えているかを理解す

るうえで有用です。2011年の調査結果によると、生徒の読書習慣は、私たちの図書館・図書室プログラムの4つのキーとなる要素 — 常駐の司書、図書館・図書室の環境づくり、読書に対する親の支援、読むことに重点が置かれた教師指導 — がプラスの効果をおよぼしていることが分かりました。

マスターカード財団からのご支援ならびに、FHI360と少女就学支援団体（Amenons Nos Filles à l'Ecole）の協力を得て、ルーム・トゥ・リードの研究チームは、『Through Their Eyes, In Their Voices（彼女たちの見たもの、話したこと）』を作成しました。これは、経済的に恵まれない境遇に生まれた少女たちが、高等教育を無事修了する上で助けとなった、人生や教育上の要因について調査を行った結果をまとめた報告書です。この研究調査を可能にしたパートナーシップは、女性のエンパワーメントに重点をおいた、クリントン・グローバル・イニシアチブ（CGI）の直接的結果として実現したもので、同報告書はニューヨーク・シティで開催されたCGIの2011年年次総会で取り上げられました。

Gはジェンダー平等（Gender Equality）のG—

私たちの女子教育支援プログラムは、少女たちに教育の重要性を示し、同時に、宿題の時間を作るコツ、試験の精神的ストレスの対処法、また将来計画の立て方などのスキルを教えることに多大な尽力を注いでいます。私たちが出版する書籍の中で早い段階でジェンダー（性別に対する社会の意識）の平等を教えることは、この使命を推進するための手段の一つです。ラオスで誕生した物語、『Thiphida（ティプティダ）』は、よくあるジェンダーの偏見に触れられることなく、学校の重要性が伝えられていて、少女たちにとってもその両親にとっても教育的な内容となっています。



ラオス



『Thipthida
(ティプティダ)』

ທິບທິດາ

著者：ピエングサバナ・オードムティップ
絵：ニボン・セングサカン

ティプティダはワクワクしています。毎朝、うんと早く起きて学校へ行く準備を整えます。一日たりとも学校に行き損ねることがないように。質問があると、堂々と手を挙げ、先生に質問をします。たくさん学ぶことがあると知っているので、ティプティダは一生懸命勉強して、努力します



২

দুইটা যে তার চোখ।
তাকিয়ে দেখে
দই পাশে তার

বাংলাদেশি



20

『1, 2, 3... Hamba
(1, 2, 3... হান্‌বা)』
১. ২.. ৩... হাম্বা

著者：タリク・マンズール
絵：サバヤサチ・ミストリ

牛はベンガル語で「ハンバ（モォ〜）」と鳴きます。しかし、牛ができるのは「モォ〜」と鳴くだけではありません！この韻を踏んだ物語は、牛が বাংলাদেশ の人々の生活にどんなに役立っているかについて説明し、さらに牛の体の様々な部分を数えながら、子どもたちが1から10までの数に親しんでいくことができるようになっています。

活動への国際的な認知

2011年、ルーム・トゥ・リードは国際的にメディアの注目を集め、各種表彰受賞、重要なパートナーシップの確立を通じて、識字能力の向上、および教育における男女の格差是正の分野で、その先導的立場と組織の知名度を継続して強化することができました。

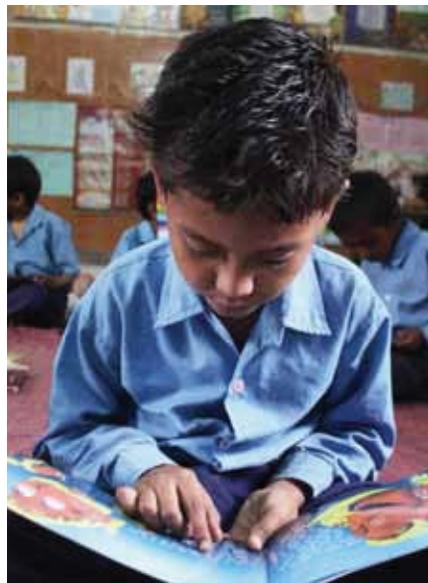


国内メディア・国際的表彰

私たちのチームの功績は、コラムニスト、ニコラス・クリストフ氏による「ニューヨーク・タイムズ」紙に連続して掲載された2つの記事、フォーブスのウェブサイト上（Forbes.com）での論説、ハフィントンポストやCNBC.com、また、オブラ・ウィンフリーがホストを務めるOWNネットワークの「ライフクラス」ショーでのフォローアップストーリーに取り上げられるなど、主要メディアや、社会的な認知度の高い人々による注目を集めています。さらに、フォーブス誌が初めて発表した「世界で最も影響力のある社会起業家30人」のリストにジョン・ウッドがランクインし、また、TEDxBerkeleyおよびシカゴ・アイデア・ウィークでは、エリン・ガンジュがスピーカーを務めました。ルーム・トゥ・リードは、ツイッター上で57万人のフォロワーを持ち、ソーシャルネットワーク上ではトップの非営利団体の一つに数えられます。私たちの2011年のツイートは、その内容と周囲からの関心度の両側面から、国際的にも認知されました。また、ルーム・トゥ・リードは、DevExの「ソーシャルメディア上における国際開発組織トップ10」の中にもその名が挙げられています。

こちらでツイート、あちらでモォ～

9月8日はカレンダー上での単なる一つの日付ではありません。私たちの功績を祝し、支援者の皆様にアクションを起こして頂けるように鼓舞する国際識字デーなのです。2011年、ルーム・トゥ・リードは、ツイッターを通じて識字の重要性に関する意識拡大を図るべく、識字運動のためのツイートを流しました。同運動を支援している出版社のランダムハウスは、私たちの特別なメッセージがこもった各ツイートに対し1米ドル（約80円）を寄付しました。この取り組みによって流された2万弱のツイートは、世界中で5千万人近い人々の目に触れ、ベンガル語で書かれた『1, 2, 3, Hamba（1、2、3、ハンバ）』を出版するのに十分な寄付金を集めることができました。



ルーム・トゥ・リードがUNESCO識字賞を受賞

ルーム・トゥ・リードは、国際連合教育科学文化機関（UNESCO/ユネスコ）主催の2011年国際識字賞の受賞団体6団体の一つに選ばれ、名誉ある孔子識字賞を受賞しました。UNESCOは毎年、識字分野における、優秀で影響力ある活動を評して、4つの賞を授与しています。今年のテーマは、特にジェンダー（性別に対する社会の意識）の平等に重きを置いた「識字と平和」でした。ルーム・トゥ・リードは、現地語出版プログラムを通して、地元の作家やイラストレーターの才能を生かし、文化に沿った読み物を現地語で制作することで識字能力の育成を図るという取り組みが評価され、特に同表彰に値する団体として選ばれました。

学生アンバサダー（大使）の誕生

ルーム・トゥ・リードは、2011年、青少年アクションプログラム「生徒による生徒支援プログラム（SHS）」を再導入しました。この国際的な青少年プログラムは、初等・中等学校の生徒および大学生を対象とした特別プログラムを通して、ルーム・トゥ・リードの認知度を高め、寄付を募るものです。初等学校レベルの生徒たちは、ルーム・トゥ・リードのプログラムを支持することによる国際的な認知の向上に焦点を置き、中等学校の生徒たちには、地元地域での活動機会や資金調達活動への参加を通して、地元コミュニティでルーム・トゥ・リードを支援する主導的な役割を担うことが奨励されます。今年はさらに、SHSキャンパス・チャプター・ネットワークが開始された年でもあり、これにより、大学生はルーム・トゥ・リードに代わって、通常の活動枠を超えたボランティア活動の機会を組織しながら、リーダーシップやプロとしてのスキルを養うことができます。今日まで、低学年から大学院レベルまでの675校以上がプログラムに参加しており、30カ国にわたって、それぞれの国でルーム・トゥ・リードを代表する活動が行われています。

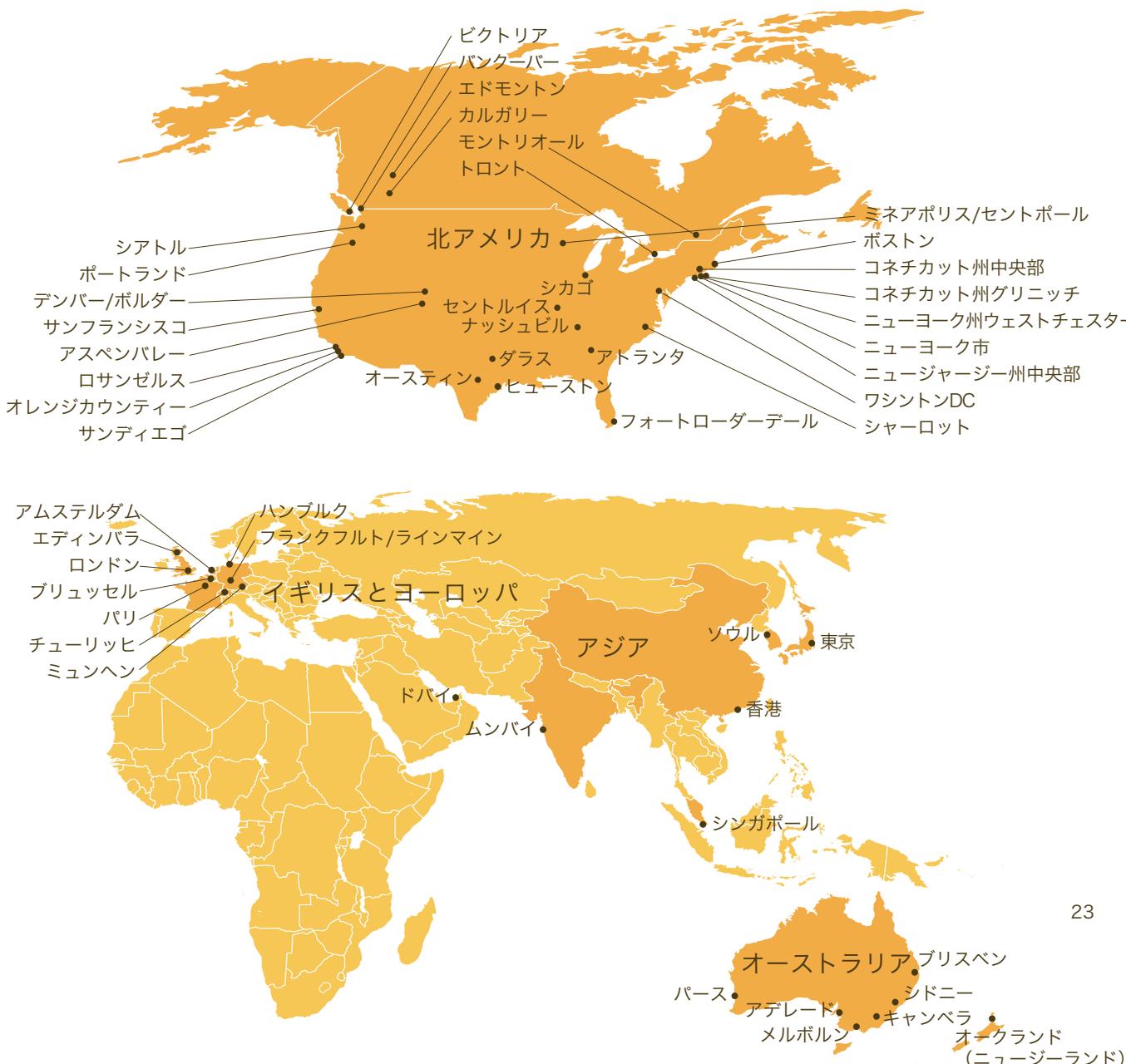
メディア企業間のパートナーシップを築く

ルーム・トゥ・リードは、ドキュメンタリー制作会社2社との協力により、映像の世界で新たな機会を探求しました。ソーシャルアクション運動の一環として制作された特別映画『10x10』（2013年公開予定）は、少女教育への活気ある支援を呼びかけ、また、テレビの短編ドキュメンタリーシリーズ『Half the Sky（ハーフ・ザ・スカイ）』（2012年秋アメリカで放映予定）は、世界中の女性のエンパワーメントをテーマとしています。『10x10』では、私たちの女子教育支援プログラムに参加するネパールの少女が紹介され、また、ピュリッツァー

私たちは、インド、スリランカ、バングラデシュで開催された2011年クリケットワールドカップにおいて、国際クリケット評議会（ICC）とのパートナーシップを通じ、ルーム・トゥ・リードの国際的な知名度を高めました。また、この連携を通して、プログラムに参加する生徒たちが、世界的に有名なスポーツ選手と交流する機会を得られたばかりか、試合で6ランが決まるごとに550米ドル（約44,000円）が寄付されるという、ライアンス・ライフ・インシュランス社による「境界線で本の普及を（Boundaries for Books）」キャンペーンも行われ、2万人を超える子どもたちがその恩恵を受けることができました。

ルーム・トゥ・リードの全世界の活動拠点

2011年も、世界中に広がる私たちのチャプターネットワークはさらなる拡大を遂げ、ルーム・トゥ・リードへの貴重な支援提供と持続性の向上に貢献しました。チャプターのメンバーによる活動によって、ルーム・トゥ・リードの年間資金調達額のほぼ30%に当たる、合計1,220万米ドル（約9億7600万円）が集められました。私たちのチャプターネットワークは、現在16ヶ国に及び、50拠点以上に広まっています。



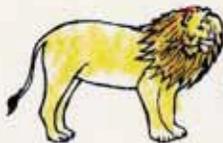
C. Isinza kutimba ziganzizo harima au harima timabokosi.

mtengo	mkango	panga	nguluwe
ngamira	lupenga	mzungu	

Citsanzo:

1. Ona  ngamira yanga.

2.  panga iyi ndi ya Masiye.

3. Uyu  mkango waimilira.

4.  mtengo wa Lindiwe wakura.

5. Ona  nguluwe iri mcire.

6. Lozi akonda kuliza  lupenga

7. Uyu ndi  mzungu.

ザンビア



『Workbook Two
(ワークブック2)』

Buku la Nchito Laciwiri

著者：複数名
絵：ケルヴィン・マクング

強い音？柔らかい音？一緒に使ったらどんな音になる？
このワークブックシリーズ第2弾は、チェワ語での母音と子音の組み合わせを指導します。
読み書きの練習は、通常の話の中でその単語がどれほど頻繁に使用されているかを考慮した上で作られています。

企業・財団スポンサー

ルーム・トゥ・リードは、私たちのミッションを遂行し、さらに規模を拡大する上で、パートナー機関からのご協力に大きく支えられています。2011年、資金面での援助、物資・サービス提供を受ける他、社員や消費者とのつながりを築くことに関しても、企業、財団、政府のパートナーと連携して活動を行って参りました。各スポンサーとの強力な協力関係を通して、私たちは何百万人というアジアとアフリカの子どもの識字能力の向上、および男女平等の教育機会を実現するため、個々の企業と独自のパートナーシップを築いています。



アトラシアン社は、新規企業や小規模のチームが新たな事業を創出する助けとなるフルサポート付ソフトウェアを10米ドル（約80円）のスターター・ライセンスとして提供し、その収益金を全額ルーム・トゥ・リードに寄付して頂いています。このイニシアチブを通じ、アトラシアン社からは2百万米ドル（約160万円）相当の寄付金が寄せられています。



パークレイズ社は、2008年以来ルーム・トゥ・リードと提携し、図書館・図書室、現地語出版、女子教育支援のために資金提供いただいています。これらのプログラムを通じて、カンボジア、インド、ネパール、スリランカ、ベトナム、南アフリカの8万9千人を越える子どもたちを援助することができました。また、世界中にいる同社社員も、ルーム・トゥ・リードの活動に関わってください、資金調達イベントへの参加や、啓蒙活動もしていただいています。さら

にパークレイズ社には、百万人近い少女たちの教育の向上を目的とした、クリントン・グローバル・イニシアチブへのルーム・トゥ・リードのコミットメントにも支援いただいています。



6年間にわたる補助金による支援の間、ビル&メリンダ・ゲイツ財団には、ルーム・トゥ・リードの戦略的計画のための活動ならびに、図書館・図書室プログラムや現地語出版プログラムの国際比較評価の分野でも、ご支援いただいています。また、同財団は、図書館・図書室設立後の調査においてもご尽力いただいております。ルーム・トゥ・リードの援助期間終了後の学校の図書館・図書室の維持管理において、どのような成功要素が関連しているかを調査するための支援もいただいています。

Bloomberg

ブルームバーグ社は、2008年よりルーム・トゥ・リードを支援してくださっています。2011年には、私たちの現地語出版プログラムを通じた、アジアでの50万冊もの児童書やストーリーカードの制作などに資金提供いただきました



クレディ・スイス社は、ルーム・トゥ・リード最大の企業スポンサーの一社で、現在、グローバル・エデュケーション・イニシアチブを通して、読み書き能力育成プログラムおよび女子教育支援プログラムをご支援いただいています。また、クレディ・スイス社は、香港、ロンドン、東京、シドニーを拠点とするルーム・トゥ・リード職員に、無償でオフィススペースを提供いただいています。

筆記練習に磨きをかけてー

私たちはルーム・トゥ・リードが出版したいいくつかの図書はページへの書き込みを奨励しています。ザンビアの全国識字プログラムへの支援として、ルーム・トゥ・リードは、教師陣や学校が全生徒の読書能力を育成・向上する上で必要となる資源を全て提供することを約束しています。読み書き能力育成プログラムチームは、ザンビアの教育省カリキュラム部門ならびに主要教育専門家チームと連携して、現地のチェワ語の読み書き用ワークブックを制作しました。1年生の授業用に開発されたこのワークブックは、30校で試験的に使用されており、教師が読み書きやアクティブ・リスニングを教えるのに役立てられています。



EIMA財団のご支援のおかげで、ルーム・トゥ・リードはアフリカでの読み書き能力育成プログラムに関する調査や開発活動を実施することができ、南アフリカとザンビアにおける当組織の活動を強化することができました。



ゴールドマン・サックス社および「ゴールドマン・サックス・ギブズ」プログラムを通して、世界各地のルーム・トゥ・リードのプログラムは、同社とその幹部役員の方々より、何百万ドル（数億円）ものご支援を頂いています。また、ゴールドマン・サックス社の「1万人の女性」プログラムを通して、同社にはインドでの女子教育支援プログラムに対する起業家スキル総合訓練の開発サポートもして頂いており、さらに400人の女子高校生の包括的な教育機会の実現にもご尽力頂いています。



キャタピラー財団は、1,200名の少女たちに包括的な教育を提供するとともに、インドとベトナムの1万6千人以上の子どもたちに教育機会を与えることを目的とした、48カ所の図書館・図書室設立にご尽力頂いています。



ジョーンズ・デイ財団は、ルーム・トゥ・リードの図書館・図書室の設立、女子教育支援、現地語での児童書出版を通して、南アジアの約8千人の子どもたちにご支援下さっています。また、ジョーンズ・デイ財団は、多くのルーム・トゥ・リードの事務所に対する法的サービスを無償でご提供いただいています。



リライアンス・ライフ・インシュランス社は、「境界線为本の普及を（Boundaries for Books）」キャンペーンを実施し、2011年ICCクリケットワールドカップで6ランが決まるごとに、ルーム・トゥ・リードに550米ドル（約44,000円）の寄付をして下さり、2万人を越える子どもたちの支援が実現しました。また同社は、ムンバイに拠点を置くルーム・トゥ・リード職員にオフィススペースの一部を共有して下さっています。



スコール財団は、ルーム・トゥ・リードが、アジア・アフリカ地域で複数の国々にまたがる活動を広めていくための、能力の構築・拡大にご支援下さっています。社会起業家のリーダーシップを評価し、表彰することで、スコール財団は、人材管理、プロ

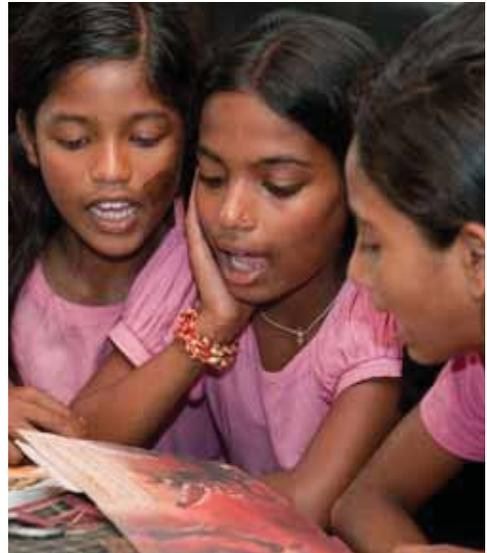
グラム設計・開発、モニタリング・評価、資金調達に関連する、ルーム・トゥ・リードの主要なイニシアチブをサポートして下さっています。



ルーム・トゥ・リードは、教師や司書の訓練や、南アジアの地元作家やイラストレーター的能力向上イニシアチブの強化のため、アメリカ合衆国国務省南・中央アジア局と提携しています。合衆国国務省はまた、南アジア地域での図書館・図書室の設立、現地語の書籍出版、ならびに女子教育支援プログラムもご支援下さっています。



シマンティック・コーポレーションは、女子教育支援プログラムを通して何百人もの少女を支援して下さっています。同社はまた、運用・プログラム面での主要なサポート提供元として、インドのマハラシュートラにおけるルーム・トゥ・リードのプログラム導入もご支援くださり、インド全域での私たちの識字能力向上プログラムの普及に助力して下さっています。



主要な企業・財団スポンサー (1/1/2011-12/31/2011)

50万ドル（約4,000万円）以上のご寄付

アルタ・キャピタル
アトランティック財団
パークレイズ
ビル&メリンダ・ゲイツ財団
ゴールドマン・サックス
ELMA財団

25万ドル～49万9999ドル
(約2,000～3,999万円)

キャタピラー財団
ジョーンズ・デイ財団
リライアンス・ライフ・インシュランス
スコール財団
アメリカ合衆国国務省南・中央アジア局
シマンティック・コーポレーション

10万ドル～24万9999ドル
(約800～1,999万円)

アドルフ・H・ランディーン慈善基金
ボル・ドットコム
コレル・コーポレーション
ニラヴ・モディ財団
ヒルトン・ワールドワイド
ICICI財団
マイクロソフト

オブラ・エンジェル・ネットワーク
プライオリ・グループ
マスターカード財団
東京海上日動火災保険株式会社

5万ドル～9万9999ドル
(約400～799万円)

CLSAチェアマンズ・トラスト
ベター・ワールド・ブックス
ケアン・エナジー・インド社
ドッジ・アンド・コックス
ドバイ・ケアーズ
オランジェリー財団ならびに同財団
寄付者ら
フォッスル社
ジャムナラル・バジャジ財団
マリン・マナー・インターナショナル
ノキア・コーポレーション
スクール・フォー・ザ・ワールド
(ポジティブ・リアル・エステート社)
スケッチトラベル
T&Jメイヤーファミリー財団
チャリタブル財団
ホーラス・W・ゴールドスミス財団
ユナイテッド・ウェイ・ワールドワイド
(ターゲット・コーポレーションを代表)

物品・サービスの主要な寄贈者

アジア財団
ベリー・ブラザーズ&ラッド
ブラザーズ・ブラザー財団
シスコ・システムズ社
クレディ・スイス
ディズニー・パブリッシング・ワールド
ワイド
ファイナンシャル・タイムズ
(ピアソン)
ラファージリライアンス・キャピタル
セーバー財団
スカラスティック社
スモール・ラグジュアリー・ホテルズ・オブ・ザ・ワールド

決算報告書

ルーム・トゥ・リードは財務の健全性に多大なる重きを置いており、その実現努力がこれまで常に高く評価されてきました。ルーム・トゥ・リードはその健全な財務管理に対し、チャリティ・ナビゲーターから最高評価の4つ星評価を今年も6年連続で獲得しました。この特別な功績を成し遂げているのは評価対象団体の上位3%に過ぎません。

ルーム・トゥ・リードの健全な経営を示すハイライト

ルーム・トゥ・リードは2011年、プログラム目標と運営の効率性のバランスを慎重に保ちつつ、大幅な収益成長を見せました。

2011年の財務報告の概要は以下の通りです：

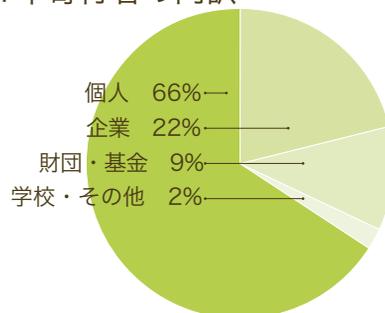
・寄付金4,160万米ドル（約33億2,800万円）— 前年の総計3,380万米ドル（約27億4,000万円）より25%増。主に出版社からの児童書の寄贈による物品・サービス支援の寄付額は640万米ドル（約5億1,200万円）で、前年合計510万ドル（約4億8,000万円）から25%増。

・米国外の海外の募金活動拠点を通して集まった募金額は2,230万米ドル（約17億8,400万円）— 前年合計1,760万米ドル（約14億8,000万円）から27%増。

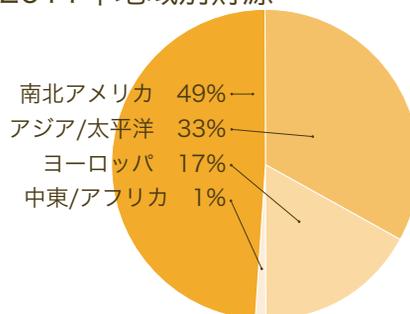
・ルーム・トゥ・リードのプログラムへの投資額は3,760万米ドル（約30億8,000万円）— 前年合計3,180万米ドル（約25億4,400万円）から18%増。

・プログラム費用が総支出に占める割合は84%で、諸経費に充当されたのは、1ドルの支出のうちわずか16セント（1ドルを80円としたとき、約13円）。

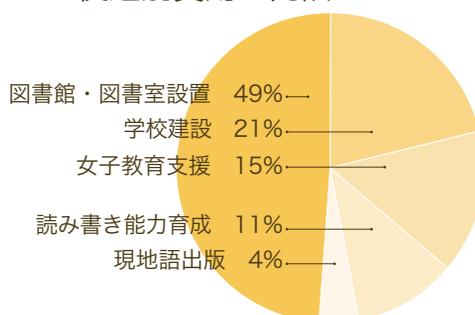
2011年寄付者の内訳



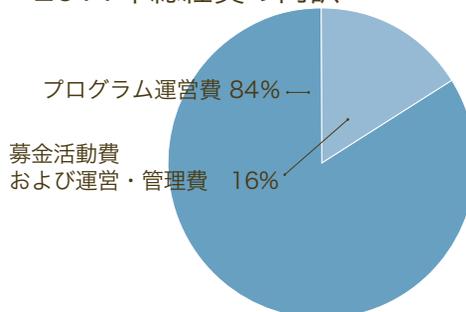
2011年地域別財源



2011年プログラム 用途別費用の内訳



2011年総経費の内訳



活動報告書

2011年度および2010年度（米ドル）

支援および収益	2011	2010
企業	\$9,238,776	\$7,220,068
財団・基金	\$3,704,282	\$3,732,244
個人	\$27,647,244	\$21,580,502
学校およびその他	\$988,193	\$519,871
寄付金合計	\$41,578,495	\$33,052,685
現物寄付	\$6,387,965	\$5,123,969
投資収益	\$339,994	\$589,031
その他収入	\$(16,817)	\$(115,669)
支援および収益合計	\$48,289,637	\$38,650,016
運営経費	2011	2010
プログラム運営		
図書館・図書室	\$8,506,055	\$8,076,865
寄贈図書・物品	\$2,631,625	\$4,736,251
学校建設	\$5,111,854	\$3,812,170
女子教育支援	\$2,544,196	\$1,830,725
現地語出版	\$691,103	\$1,115,184
読み書き能力育成（識字力向上パイロット）	\$1,305,372	\$858,456
会議費・旅費	\$2,322,244	\$1,590,428
情報技術	\$901,840	\$812,099
モニタリング・評価	\$745,096	\$451,607
専門家報酬	\$864,313	\$665,779
プログラム経費	\$2,060,738	\$1,241,148
プログラム人件費	\$9,895,582	\$6,610,663
プログラム運営費合計	\$37,580,018	\$31,801,375
運営・管理費	\$2,646,068	\$2,243,153
募金活動	\$4,425,170	\$3,683,107
運営経費合計	\$44,651,256	\$37,727,635
翻訳調整	\$(298,868)	\$326,437
非拘束純資産の変動	\$(2,016,298)	\$(2,980,776)
一時拘束純資産の変動	\$5,355,811	\$4,229,594
期首非拘束純資産	\$5,319,988	\$8,300,764
期首一時拘束純資産	\$15,702,403	\$11,472,809
期末純資産	\$24,361,904	\$21,022,391



タンザニア



『Mysterious Chicken
(不思議なニワトリ)』
Kuku Wa Ajabu

著者：リチャード・マバラ
絵：シャバニ・ハミドゥ

このニワトリは実は腹話術師で、声を変えてライオンのようにほえることができるのでしょうか？・・・それともただ自分が誰だか分からなくなっているだけ？現在制作中のこの作品は、年少の読者にどの動物がどんな声を出すかを教えます。

どんなストーリー展開となるかは、この本が出版されてから是非チェックしてみてください！

理事会役員、諮問委員および職員

理事会役員

ジョン・ウッド（共同理事長）：ルーム・トゥ・リード創設者

ティム・クーゲル（共同理事長）：ヤフー元最高経営責任者

ユスフ・アリゼラ：ノーベル・グループ最高経営責任者

クリストファー・S・ピア：アイアンマーク・ロー・グループ創設メンバー

クレイグ・ブリュエ：マイクロソフト・ビジネス・ソリューションズ元最高財務責任者（CFO）

ピーター・T・グラアー：ブルームバーグ社会長

ジェリー・デルミシエ：パークレイズ・キャピタルおよびコーポレート&インベストメント・バンキング共同最高経営責任者

スコット・キャブニック：ハイブリッジ・キャピタル・マネージメント経営パートナー

キム・アンスタット・モートン：『10x10』およびエッジウッド・アーツ顧問委員

フェルナンド・ライマーズ博士：ハーバード大学教育学大学院、国際教育政策ディレクター

ジョン・リディング：「ファイナンシャル・タイムズ」紙最高経営責任者

特別な感謝を込めて

長年にわたってボランティア、投資者、ルーム・トゥ・リード理事会元会長として活躍してくださったヒラリー・バレンタイン氏は、2000年8月に初めてジョン・ウッドと顔を合わせて以来、ルーム・トゥ・リードの発展において非常に重要な役割を担ってきて下さいました。氏の当組織への関与は、御両親、ドナルド&レイチェル・バレンタインへの敬意を表して、ネパールに学校を建設するという誓いを立てたことから始まりました。2001年の秋、氏の家族財団がスポンサーとなって、複数年にわたって助成金を提供して下さい、この資金がもとになって現在の女子教育支援プログラムが誕生しました。このご支援のおかげで、ルーム・トゥ・リードは女子教育支援分野における活動に第二の柱を加えながら、当組織の活動範囲とその影響力を大幅に拡大することができました。

ドナルド&レイチェル・バレンタイン財団の理事会役員、ならびにプレスト・キャンサー・コネクションズの名誉委員である氏は、ルーム・トゥ・リードの使命に対する意識・認識の向上と資金援助の拡大に、最大の努力をして下さいました。当初は個人擁護者として、そしてその後はアドバイザリー・ボードの一員として尽力なさり、2003年5月にはルーム・トゥ・リードの理事に選任されました。同月、氏はルーム・トゥ・リード初となった資金調達イベントの共同主催者として、10万米ドル（約800万円）以上の寄付金を募りました。3期9年間にわたる理事の任務を全うし退任されました。当初から、ルーム・トゥ・リードの活動の質を深める上で主要な貢献者であり、当組織のグローバルスタッフやボランティアネットワークにも絶大なご支援をして下さいました。その貢献の数々は計り知れません。私たちは氏が理事という役割の中で示された価値観、熱意そして献身さに敬意を表します。氏はこれからもルーム・トゥ・リード・ファミリーの欠かすことのできない一員であり続けることでしょう。

ニワトリも最初はヒヨコ

児童書を出版するのは容易なことではありません— 最近特にそう言えるでしょう。2012年、ルーム・トゥ・リードは、タンザニアで現地語出版プログラムを開始し、現地語であるスワヒリ語で書かれた5タイトルを出版する予定です。

同プログラムを開始、運営していくために、私たちはまず印刷会社や出版業者と会い、市場環境を理解してから、制作する書籍の最適な出版方法を決定します。その後初めて、作家やイラストレーターのワークショップを通じて、適切な子ども向けの物語探しが始まるのです。

タンザニアでの最初のワークショップで、早くも候補作品が登場しました— 『Kuku Wa Ajabu（不思議なニワトリ）』です。他の数作品とともに、このストーリーは子どもたちを相手に実地試験を行い、あわせてプロの作家、イラストレーター、教師で構成される出版委員会にも意見を求める予定です。

アドバイザリー・ボード (グローバル)

ジョン・ボサムリー：フォー・エカー
ー・トラスト創設者 兼 理事

アーネスト・チョウ：センサトキャピ
タル・マネージメント パートナー 兼
創設者

ルイス・クラウチ博士：「グローバル
・グッド・プラクティス」チーム・コ
ーディネーター；「万人のための教育
(EFA)」ファスト・トラック・イニ
シアティブ事務局員

ロブ・フラハティ：ケッチャム社シ
ニア・パートナー並びに社長 兼 最高経
営責任者

ディール・ジングラン：インド・アッ
サム州政府書記長官

アディ・ラウディアディス：ゴールド
マン・サクセス社パートナー

メリッサ・J・マー：アジア・オルタナ
ティブ・マネージメントLLC共同創
設者 兼 経営パートナー

パット・マクドウェル：クラウド・ナ
イン財団創設者 兼 理事長

アルル・メネセス：マイクロソフトリ
サーチ上役ソフトウェア・アーキテク
ト

シャーリー・ミスケ博士：ミスケ・ウ
ィット&アソシエイツ社社長 兼 シニア
・コンサルタント

キャレン・マンティ博士：トロント大
学准教授 兼 カナダ・リサーチ会長

ステイシア・オブレスキー：クライ
アント数社にて暫定最高財務責任者

カヴィタ・N. ラムダス：スタンフォード
大学フリーマン・スボグリ国際研究
所「リブルズ・トゥ・ウェイヴス」業
務執行取締役

M・R・ランガスワミ：サンド・ヒル・
グループLLC共同創設者

キャロル・クヌース・サコイアン博士
：
スカラスティック・インターナシヨナル
国際事業開発部副部長

ティム・ウッド：グラミン財団モバイ
ル・ヘルス・イノベーション部取締役

メロディー・ザバラ：アジア財団ブッ
クス・フォー・アジア部取締役

スティーブ・W・ジーマー：マーシ
ー・コープス最高財務責任者

デベロップメント・ボード (アジア太平洋地域)

ララ・アバシ：インテリア・デザイン・
カンパニー元創設者

オサマ・S・アバシ：クレディ・スイス
・アジア太平洋地域最高経営責任者

ディナ・クレイノ・アリエザ：INVUメ
ディア創設者および最高経営責任者

ユースフ・アリエザ：ノーベル・グルー
プ最高経営責任者

L・ブルックス・エントウィッスル：ゴ
ールドマン・サクセス社南東アジア支
部長 兼 南東アジア地区インベストメン
ト・バンキングチーム部長

ローラ・マークス・エントウィッスル：
インド政府、市民団体、民間部門と協
力し、性的搾取を目的とした人身売買と戦
うイニシアチブを始動

カール・ハッテンロッツチャー：ミリアド
・アセット・マネージメント経営パート
ナー 兼 最高情報責任者

ウェンディ・ルング：複数非営利団体支
援、元マネージメント・コンサルタント
および金融/マーケティング・アナリスト

タミコ・M. リピット：以前、ヒューズ
・ハバード&リードLLPで弁護士を務
める

グラハム・ポーター：タイガー・グルー
プ・インベストメント社会長

タマラ・ヴァルガ

ゾルタン・ヴァルガ：オクジフ・キャピ
タル・マネージメント・グループ業務執
行取締役 兼 アジア地域投資部門部長

カオリ・ゼージ

レイ・ゼージ：ヌーンデイ・アセット・
マネージメント・アジア社業務執行取
締役 兼 最高経営責任者 兼 ポートフォ
リオ・マネージャー

アドバイザリー・ボード (英国)

ベラ・ベルンズ：インスティチュート・
フォー・フィランソロピー慈善運動アド
バイザー

ケヴィン・パーク：パークレイズ社業務
執行取

締役 兼 投資者ソリューションズ部門
長 兼

資金およびアドバイザリー・ディストリ
ビューション部門長

マリサ・ドリュー：クレディ・スイス社イン
ベストメント・バンキング部門専務取締役

マーティン・ゴウワー：英国マクダーモット・
ウィル&エマリー社パートナー

シンドウ・ホーダー：デヴィドール創設者

スコット・ミード：リッチモンド・パーク・パ
ートナーズ創設パートナー

ジョン・リディング：「ファイナンシャル・タ
イムズ」紙最高経営責任者

アマング・ロス：カクタステレビ共同業務執行
取締役

ランディ・ワーク：キタノ・キャピタル社業務
執行取締役

マネジメント・チーム

エリン・ガンジュ：共同創設者 兼 最高経営
責任者

ジョアン・チョウ：最高財務責任者

コーリー・ヘイマン博士：最高プログ
ラム責任者

ハイディ・ピーターソン：最高開発責任
者

ピエール・タウンズ：最高人材活用責任者

地域担当取締役

ジョン・ビュルー：アジア地域

ワイズマン・ウングワタ：アフリカ地域

各国カントリーディレクター

スニーシャ・アフジャ：インド担当

サマンサ・チューラ：ザンビア担当

ザキ・ハサン：バングラデシュ担当

カール・カーン：カンボジア担当

ティエン・フォン・リー：ベトナム担当

クリストファー・モスピ：南アフリカ担当

セオドリー・ムワロンゴ：タンザニア担当

ロンベット・フォンファチャン：ラオス担当

ラメシュ・ビュリー：ネパール担当

チャンドラ・ラナウィックラマ：スリランカ
担当

デザイン：メレイニー・ドハーティ・デザイン

写真および絵画提供：

表紙：アン・ホームズ；

内表紙：ニヴォング・センサクンの「Riding (背中の上に)」

より (2011年ルーム・トゥ・リード・ラオス出版)；

ページ1左：ピーター・スタッキングス；ページ10左：イアン・

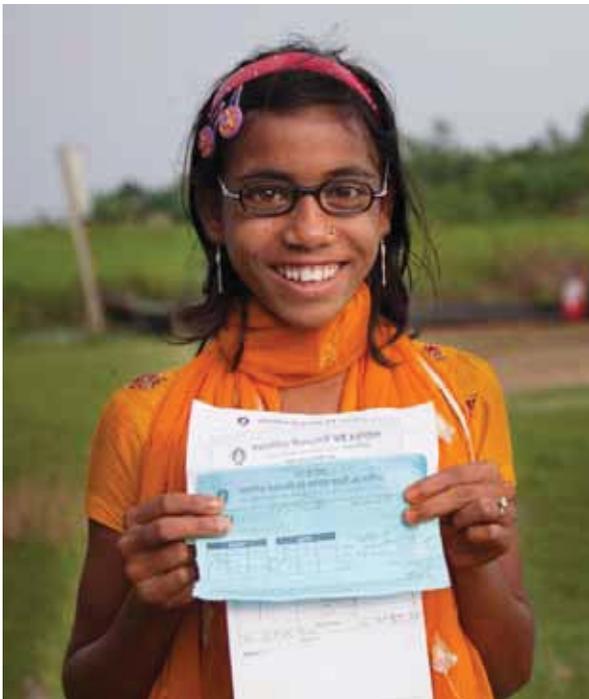
マーフィー；ページ10右：フォト・フィランソロピー代理リス

・ヘイル；ページ11：10x10act.org「少女たちに教育機会を与

えて世界を変える」；ページ12右：アン・ホームズ；ページ22

左：アン・ホームズ；ページ22右：ヴァルン・シャードウリー

；ページ26：福知 彰子 (25ans)；ページ27左：イアン・マー
フィー
内裏表紙：左上- ピーター・スタッキングス/右上- フォト・フ
ィランソロピー代理リス・ヘイル/中央- 福知 彰子 (25ans)



子どもの教育が世界を変える



<http://japan.roomtoread.org/>

グローバルオフィス

Room to Read
111 Sutter Street, 16th Floor
San Francisco, CA 94104
United States
+1 415 839 4400

Room to Read
33 Whitehall Street
15th Floor
New York, NY 10004
United States

ヨーロッパオフィス

Room to Read
One Cabot Square
London
E14 4QJ
United Kingdom

アジア太平洋オフィス

Room to Read
Level 29, 1 Macquarie
Place
Gateway Building
Sydney NSW 2000
Australia

Room to Read

99/F International Commerce
Centre
One Austin Road West
Kowloon
Hong Kong

Room to Read

Kamala Mills Compound,
Trade World
B Wing, 7th Floor, Lower Parel (W)
Mumbai 400013
India

ルーム・トゥ・リード・ジャパン
〒106-6024
東京都港区六本木1-6-1
泉ガーデンタワー26階

ルーム・トゥ・リードに事務所スペースをご提供頂いている以下の企業のご厚意に深く感謝申し上げます：ク
レディ・スイス（ロンドン、香港、シドニー、東京）、『ファイナンシャル・タイムズ』紙（ニューヨーク）
、リライアンス・キャピタル（インド）